

特集「社会科学への招待2021」について

経済学部地域貢献・研究企画委員会

井原 基・間野 肇

本特集は、新入生を始めとする学生会員の皆さんに向けて企画されました。

本誌「社会科学論集」は、埼玉大学経済学会の機関誌として、厳格な査読を受けた研究論文を掲載し、会員のみならず、広く学会や社会に研究成果を提供しています。埼玉大学経済学会は、経済学部にも所属する教員、学生、卒業生、その他の会員によって構成されています。

本特集は、本学部における「経済分析」「国際ビジネスと社会開発」「経営イノベーション」「法と公共政策メジャー」の4メジャーの紹介を行うとともに、各執筆者の専門分野を通じて社会科学の面白さや楽しさを伝え、特に新入生を始めとする学生会員の皆さんに学問への関心を持ってもらえるような内容を掲載しています。

大学での学問や研究は、大教室での講義を聴くだけで完結するものではありません。関心を持った内容について自ら専門書や論文を読み、考え、教員や他の学生と議論し、その集大成として研究論文を書くことによって、学問や研究は、はじめて自分のものになります。本特集の企画担当者の一人(井原)は、研究を進める上で企業の実務家の方々にお会いすることも多いのですが、少し親しくなると大抵ご自身の大学時代の話がされます。そして「大学での勉強をさぼってばかりいた」「こんなことなら学生時代にもっと勉強しておけばよかった」と後悔交じりにおっしゃることが良くあります。これは、大学時代に小手先のスキルや資格を身につけておけばよかった、という意味ではありません。根本的な思考力を鍛え、知恵を養うには、学問の力が必要なのです。大学生というのは、期限付きでその力に触れることができる特権的身分なのですが、その特権を生かせるかどうかは貴方次第です。

「大学生が本を読まなくなった」と言われて久しくなりますが、学生会員の皆さんには、この特集を活用して、本物の学問研究の世界に触れ、本誌に掲載される専門論文も読み、どんどんアカデミックな議論に参加して欲しいと願っています。